

令和3年度 事業計画書

令和3年度事業計画書

県内の経済情勢は新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続いており、県内中小企業は「新しい生活様式」を実践しながら事業継続に取り組んでいる状況にある。

こうした中、当会社では「中小企業の未来を創造する信頼のパートナー」の経営理念のもと、県の中小企業施策の実施機関として企業の現場を重視し、そのニーズを的確に捉えた支援策をワンストップで展開していく。

令和3年度においては、中小企業の経営基盤の強靱化をはじめ、オンラインを活用したビジネスマッチング支援、デジタル技術の活用支援や幅広い層を対象とした創業支援などの充実を図り、引き続き本県産業の活性化を推進していく。

I 経営支援

(単位：千円)

(1) 経営支援

240,186

経営革新に取り組む県内中小企業・小規模事業者に対し、公社内支援専門家が中心となり様々な相談に対応するとともに、必要に応じて各分野の外部専門家を派遣することにより、課題解決を支援し、経営基盤の強化を図る。

令和3年度はコロナ禍への対応として、事業継続力強化計画の策定支援を新たに実施し、よろず支援拠点では「売上回復」「経営改善」の相談対応を強化する。

① 経営相談の実施

県内中小企業の様々な経営課題の解決に当たるため、窓口相談や企業を訪問しての相談を実施する。また、弁護士による法律相談や事業承継に関する税理士等による専門相談を実施する。

ア 経営相談	随時
イ 法律相談	6回
ウ 専門家相談(事業承継)	12回

② 支援専門家の派遣

経営革新や現場改善など中小企業が抱える様々な経営課題について、公社に登録されている幅広い分野の登録専門家の中から課題解決を支援する専門家を派遣する。

ア 専門家派遣企業数	15社
イ 総派遣日数	120日

③ 中小企業三大課題集中取組事業

県内中小企業の重要課題である人手不足や事業承継に対応するため、「省力化・省人化」「外国人材活用」「事業承継」に関して専門的知見を有するアドバイザーが課題解決を支援する。

ア アドバイザーの配置	3名
イ 診断、課題整理	300件
ウ 課題解決	100件

④ SDGs 経営推進事業

県内中小企業のSDGs 経営を推進するため、基調講演や事例紹介、具体的な取り組み方等に関するセミナーを実施する。

ア スタートアップセミナー	1回
イ テーマ別セミナー	3回

新⑤ BCP 策定支援事業

防災・減災の事前対策に関する「事業継続力強化計画」の策定について、BCPの専門的知見を有するアドバイザーが支援する。

ア BCPアドバイザーの配置	2名
イ 事業継続力強化計画策定支援	40社
ウ モデル事例集の作成	

⑥ マネジメントシステム導入支援

国際規格（ISO）の認証取得、及び事業継続計画（BCP）の導入を支援するため、コンサルティングを実施する。

ア ISO等マネジメントシステム導入支援 支援企業数	2社
イ ISO等フォローアップ支援 支援回数	15回
ウ BCP導入支援 支援企業数	8社
エ BCPフォローアップ支援 支援回数	10回
オ レジリエンス認証導入支援 支援企業数	1社

⑦ 若手経営者支援【フォース21】

県内中小企業の後継者・若手経営者の交流組織「フォース21」を運営し、経営トップとしての資質の向上、人的ネットワークづくりや情報収集体制の構築等について支援する。

ア 定例会の開催	2回
イ テーマ別研究会の開催	4回
ウ 各グループ（9グループ）の活動	随時

⑧ 経営診断等の実施

中小企業診断士資格を有する公社職員を活用し、川口市と戸田市から中小企業の経営診断等を受託する。

ア 経営診断	12回
イ 起業相談会	12回
ウ 地域貢献診断	15回
エ 新技術診断	5回

※ア～ウ：川口市、エ：戸田市

⑨ 「埼玉県よろず支援拠点」の運営

県内中小企業・小規模事業者の経営支援体制をさらに強化するため、国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、埼玉県内の「よろず支援拠点」の実施機関として、総合的・先進的経営支援を実施する。

ア	コーディネーター等の配置	24名
イ	相談対応件数	9,660件
ウ	課題解決件数	1,700件

⑩ 「埼玉県プロフェッショナル人材戦略拠点」の運営

県内中堅・中小企業に「攻めの経営」の意欲を喚起し、新たな事業展開を担う高度な「プロフェッショナル人材」を活用した経営革新の実現を促進し、県内経済をけん引する中小企業への成長を支援する。

ア	マネージャー等の配置	6名
イ	相談対応件数	600件
ウ	マッチング成約件数	120件
エ	セミナーの開催	2回

⑪ サービス産業事業者ICT・AI活用支援事業

サービス産業の生産性向上に有効なICTを活用した業務効率化やマーケティング、販路拡大等の取組を支援する。

ア	アドバイザーの配置	3名
イ	相談対応件数	210件
ウ	セミナーの開催	8回

II 創業・ベンチャー支援

(1) 創業・ベンチャー支援

117,401

「創業・ベンチャー支援センター埼玉」を運営し、創業前の相談から創業後のフォローアップまでの一貫した創業支援を行う。

創業予定者や新規創業者を対象に、創業準備の進め方や事業計画の作成など様々な相談に対応するとともに、創業に必要な知識を体系的に学ぶためのセミナーやベンチャー企業の成長を促進するためのビジネスマッチングを実施する。

人口減少が著しい地域での創業を促進するため、県内9市町村で起業し、地域課題の解決を目指す者に対して起業支援金を支給する。

社会的インパクトを与える新たなサービスの開発等で社会課題の解決を目指す創業希望者に対して、販路拡大やマッチング、資金調達などについて伴走型の支援と創業に係る経費の補助を行う。また、伴走型の支援を行うために新たにアドバイザーを配置し、支援対象者に寄り添って支援することにより、社会課題の解決を図る。

① 創業相談

創業予定者・新規創業者に対して、個別のアドバイスや情報提供を行う。

ア 開業アドバイザーによる創業相談（月～土）

創業予定者等の様々な相談に対応し、きめ細かなアドバイスを行う。

イ 士業による創業相談

行政書士会や社会保険労務士会などの士業団体と連携し、許認可申請や社会保険、企業法務などの専門的な相談に対し、専門家がアドバイスを提供する。

② 創業セミナー

創業までの心構えや創業後の営業活動など、創業のステージに合わせた各種セミナーを開催する。

ア 創業セミナー

32回

・創業準備セミナー

・WEB活用セミナー

・経営基礎セミナー など

イ 市町村連携セミナー

8回

・女性プチ起業セミナー

・副業から始める起業セミナー など

③ 女性の創業支援

ア 女性起業支援施設の運営

女性起業支援ルームCOCOオフィスを管理・運営するとともに、アドバイザーを配置して利用者からの相談などに対応する。

イ 女性創業支援チームの運営

女性創業の立ち上げ時から成長期までアドバイザーによる集中サポートを行う。

④ ベンチャー成長支援

ア 彩の国ベンチャーマーケットの開催

1回

資金調達や販路開拓、事業提携などの課題を抱えるベンチャー企業を対象に、ベンチャーキャピタルや金融機関、大手企業とのビジネスマッチングを促進する。

- イ ベンチャー支援セミナーの開催 2回
独創的なビジネスモデルや経営戦略を実践している起業家や経営者を講師に迎えたセミナーを開催する。
- ウ 交流会の開催 1回
創業ベンチャー支援センター埼玉の支援を受けて創業したベンチャー企業相互の交流を図る。

新⑤ 社会課題の解決につながる創業支援事業

社会課題を解決しようとする創業希望者に対し、販路拡大やマッチング、資金調達などについて伴走型の支援と創業に係る経費の補助を行う。

- ア 伴走支援を実施 10社

⑥ 起業支援金事務局の運営

起業支援金事務局を運営し、起業支援金の支給、事業化等状況報告書の管理等を行う。

- ア 起業支援金の補助 30件

Ⅲ 販路開拓支援

(1) 取引振興

25,790

中小企業の販路開拓・受注確保を目的に、企業ニーズに沿った商談会やオンライン展示会を開催しマッチング機会を創出する。

効率的・きめ細かな取引あっせんを行うため、企業訪問や書面調査等を通じて発注案件情報や受注企業の特長・保有設備情報等を収集する。

オンライン展示会については、より多くのマッチング機会を提供するため、出展者のニーズを踏まえた機能強化を図る。

① 販路開拓支援

受発注企業のニーズに沿った商談会やオンライン展示会の開催によりマッチングの機会を提供する。

ア	オンライン展示会「彩の国ビジネスアリーナ」の開催・機能強化	1回
イ	関東5県ビジネスマッチング商談会の開催	1回
ウ	九都県市合同商談会の開催	1回
エ	地域別商談会の開催	4回
オ	大手メーカー向け商談会の開催	1回
カ	新技術・新製品マッチング商談会	1回

② 取引マッチングの推進

取引マッチングコーディネーターを配置し、企業訪問等を通じて、新規発注案件の掘り起こし、受注企業ニーズの把握、あっせん後のフォローアップを行うことで取引あっせんによる成約率向上を目指す。

ア	取引マッチングコーディネーターの配置	1名
---	--------------------	----

③ 受発注情報の収集・発信

新規発注案件の発掘や登録企業情報の更新を目的とした情報収集を行うとともに、受注登録企業の販路開拓を目的とした情報発信を行う。

ア	受発注情報収集	
	(ア) 新規外注計画調査の実施	2回
	(イ) 設備調査の実施	1回
イ	企業情報の発信（あるある企業情報検索システム）	
	受注登録企業の情報を公社ホームページに掲載して取引につなげる。	

④ 取引に関する相談

ア	下請かけこみ寺相談	随時
	中小企業が抱える取引上の様々な相談に対応し、下請取引の適正化を推進する。	

(2) 海外ビジネス展開支援

22,708

県内企業の海外販路拡大のため、海外展開ニーズを掘り起こすとともにジェトロ埼玉（日本貿易振興機構）と連携しながら課題解決を支援する。

コロナ禍における海外販路開拓のオンライン化を促進するため、越境ECの活用を支援する。

① 海外ビジネス展開の支援

貿易投資や海外販路拡大などの県内企業ニーズを掘り起こし、ジェトロ埼玉（日本貿易振興機構）と連携しながら海外ビジネス展開を支援する。

ア	海外展開ニーズの掘り起こし及び相談対応	通年
イ	彩の国ビジネスアリーナグローバルゾーンの開催	1回
ウ	国際情勢勉強会の開催	12回

新② 海外展開オンライン化支援（eコマース活用）

コロナ禍においても企業が販路開拓できるよう、越境eコマースの活用に向けて、ECサイトへの出展支援と特設サイト開設によりプロモーション支援を行う。

ア	ECサイト出展補助	18社
イ	埼玉県特設コーナー開設・PR	1回

IV 新産業振興

新 (1) 技術開発サポート事業

37,713

県内中小企業がウィズコロナ・ポストコロナ社会の市場における競争力を獲得し、稼げる力を高めていけるよう、技術開発・実証・活用等を支援する。

国庫補助金の獲得やデジタル技術を活用した製品開発を支援するとともに、企業連携による技術・製品開発を促進する。

また、企業のニーズ・シーズの技術マッチング、企業間連携に向けたマッチング交流会の開催、マッチングサイトの運営などを実施する。

① 国庫補助金等の獲得支援

技術開発・製品開発等に必要な資金を確保するため、コーディネータによる国庫補助金等の獲得支援を行う。

- ア 競争的資金の紹介(セミナー、個別相談)
- イ 申請書作成に係る助言

② 企業マッチング支援

大手企業からの受注を獲得し、中小企業どうしの連携を構築できるよう、コーディネータによる集団マッチング及び個別マッチングを実施する。また、マッチング機会を創出するため、マッチング交流会やマッチングサイトを運営する。

- ア 大手メーカー等と県内企業とのマッチング会 4回 (40社)
- イ 個別企業のニーズに応じたマッチング 300回
- ウ マッチング交流会 (テーマ別) 5回
- エ マッチングサイトの運営

③ 企業間連携による製品化・事業化の促進

中小企業が連携し、それぞれの優れた技術を組み合わせて競争力のある製品等を開発できるように、企業間の連携を支援し、製品化、事業化を促進する。

- ア 製品開発・製造等を連携して行う企業の連携体制の構築
- イ 連携企業による製品開発・事業化の支援
- ウ 販路開拓支援

(2) 課題解決型企业間連携支援事業

11,959

新たな製品開発・製造、営業・販売、アフターフォローなど中小企業が一社単独では難しい取組を促進するため、公社がつなぎ役となり、優れた技術等を有する中小企業の連携を支援する。

成長が期待される環境や防災分野などを中心に、これまで支援を行ってきた6テーマについて、令和3年度は事業化を重点に支援を行い、受注獲得を目指す。

① 製品化、事業化支援

複数企業が連携して取り組む研究会の運営により製品開発を支援し、製品化、事業化、販路開拓までの伴走支援を行う。

- ア 製品開発に必要な国庫補助金等の獲得支援
- イ 製品化、事業化に向けた研究会の運営 6テーマ
- ウ コーディネータによる技術的助言、企業マッチング支援 随時

② 販路開拓支援

開発成果を広く周知するため、成果発表会を開催するとともに、メディアや大手企業等への情報発信を行う。

- ア 成果発表会の開催 1回
- イ 展示会、集客イベント等での展示紹介
- ウ メディアや大手企業等への情報発信 随時

(3) 社会課題解決型先端デジタル技術実証・実装支援事業

25,000

ロボット、AI・IoT、5Gなど先端デジタル技術を活用して様々な社会課題を解決するため、これらの技術を活用した取組にかかる実証実験を支援し、社会実装を促進する。
課題解決に向けた提案を有する企業を公募し、選定した企業の実証試験に対し、必要なフィールドを紹介するとともに経費の補助を行う。また、事業パートナーとのマッチングや取組成果のPR等を行う。

① 参加企業の公募・選定

デジタル技術を活用した社会課題解決に取り組む県内企業やベンチャー企業等を広く公募し、支援対象とする有望な提案テーマを選定する。

- ア 支援テーマの公募・選定 4テーマ

② 実証実験支援

実証実験に適したフィールドや施設、実験への協力者を調整し、参加企業にあっせんする。また、社会実装に必要な経費について補助金を交付する。

- ア 実証フィールド等の調整・斡旋 テーマごと
- イ 実証実験経費に係る補助金交付 4テーマ

③ 社会実装支援

実証実験による成果を社会実装へと結び付け、社会課題の解決につなげるとともに、事業化に必要な企業マッチング、実証実験成果のPRなどを行う。

- ア WEBサイトやメディアを通じたPR
- イ 事業化に必要なビジネスパートナーの発掘・マッチング

デジタル技術の活用が世界的に広がる中、企業が稼げる力を高める上での効果的活用が一層重要となっている。中小企業等におけるAI・IoT・ロボットの導入・活用を支援し、生産性向上や省力化等を促進する。

令和3年度は、オンラインを活用したAI・IoTツールの紹介・マッチングや、デジタル技術を活用した経営戦略の作成を支援し、多くの企業でのより効果的な活用を支援する。

① AI・IoT普及啓発に向けた支援

AI・IoTコーディネータによる情報提供や相談対応を行うほか、最新技術動向や活用事例を紹介するセミナーの開催、IoT活用事例の作成などを行いIoT化の促進を図る。

ア	AI・IoTコーディネータによる総合相談	随時
イ	AI・IoT普及セミナーの開催	6回
新ウ	AI・IoTツール導入実践研修の開催	2回
エ	AI・IoT・ロボット活用事例の紹介	動画の作成
オ	北部地域AI・IoT普及セミナー委託	1回
カ	WEBサイトによるAI・IoTツールマッチング	

② AI・IoT人材育成支援

AI・IoTシステムを社内で構築する人材を育成する。

ア	AI・IoT人材育成研修（技術者養成）	15日／1回
イ	AI・IoT人材育成研修（先端視察研修）	4日／1回
ウ	オーダーメイド型AI研修	5社

③ AI・IoTコンソーシアム運営

企業へのAI・IoTの導入・活用を促進するため、企業・大学・研究機関・自治体等が参加するAI・IoTコンソーシアムを運営し、セミナーや展示会等を開催する。

ア	フォーラムの開催	2回
イ	オンライン展示会の開催	1回

④ ものづくりAI・IoT化支援

工場ラインのAI・IoT化を促進するため、簡易で安価なボードコンピュータの活用を体験する研修会を開催する。

ア	ボードコンピュータ活用体験研修	4回
---	-----------------	----

(5) 産学連携支援

7,860

開発力や資金力などが乏しい中小企業が、大学や研究機関の研究シーズ等を活用し、新製品や新技術の開発を迅速・効果的に行えるよう、「産学連携支援センター埼玉」を運営し、中小企業と大学等とのマッチング、競争的資金の獲得、事業化、販路開拓などを支援する。

① 産学連携相談等の実施

産学連携支援センター埼玉を運営し、コーディネータ等による産学連携相談、産学連携マッチングサイトを開設し、リアルタイムに大学研究機関の技術シーズの紹介、大学・研究機関とのマッチングや共同研究体の形成、競争的資金の獲得に関する支援を実施する。

- | | | |
|----|------------------------------------|----|
| ア | 産学連携ネットワークマネージャーによる有望な研究シーズや連携先の開拓 | 通年 |
| イ | 産学連携コーディネータによる総合相談、マッチング | 通年 |
| 新ウ | 産学連携マッチングサイトによる大学シーズ紹介 | 通年 |
| エ | 競争的研究開発資金の獲得支援 | 通年 |

② 産学連携支援ネットワーク事業

産学連携に取り組む機関で構成する「埼玉県産学連携支援ネットワーク会議」を運営し、情報交換や支援事業の検討を行う。

- | | | |
|---|-------------------|----|
| ア | 産学連携支援ネットワーク会議の開催 | 3回 |
|---|-------------------|----|

③ 産学連携に関する情報提供、交流の促進

WEBによる大学・研究機関の技術シーズの発表会や、大学シーズ見学会による企業とのマッチングを行う「産学連携フェア」の開催、メールマガジンによる情報発信を実施する。

- | | | |
|----|------------------|-----|
| ア | 産学連携技術シーズ発表会の開催 | 3回 |
| イ | 産学連携フェアの開催 | 1回 |
| 新ウ | 工科系大学シーズ見学ツアーの開催 | 4回 |
| エ | メールマガジンの配信 | 12回 |

(6) 知的財産支援

50,245

中小企業等における知的財産の創造・保護・活用を促進するために「INPIT埼玉県知財総合支援窓口」を運営し、知的財産に関する相談・支援、専門相談をワンストップで行う。

また、経営デザインシートを活用した効果的な経営戦略づくりや実践の支援、外国出願への助成を行い、知的財産の戦略的な活用を促進するとともに、知財を切り口とした経営支援、事業・販路拡大の後押しを実施する。

埼玉県発明協会からの委託を受け、発明創意くふう展の開催及び各種表彰等を実施する。

① 知的財産の相談支援

中小企業等の知的財産の創造、保護、活用を支援するため、INPIT 埼玉県知財総合支援窓口を運営し、WEBも用いた知的財産に関する各種相談に応じる。

- | | | |
|---|-------------------|----|
| ア | 知的財産アドバイザーによる総合相談 | 通年 |
|---|-------------------|----|

イ 弁理士、弁護士による専門相談	通年
ウ 企業等への出張相談	随時

② 知財経営力向上支援事業

中小企業等がコロナ禍で事業環境が変革する中で、効果的な経営戦略づくりやその実践支援を行う。

ア 知財経営力向上WEBセミナーの開催	3回
イ 経営デザインシートの作成支援	通年
ウ 経営力強化の伴走支援	通年
エ 先導モデル企業の取組紹介	随時

③ 開放特許の活用支援

大学・研究機関や大手メーカーの保有する開放特許のマッチングサイトを開設し、中小企業への紹介・マッチング支援等を実施する。

ア 個別マッチング	随時
イ 知財マッチングサイトによる開放特許シーズの紹介	通年
ウ 産学連携技術シーズ発表会等における紹介・マッチング	3回

④ 外国出願支援事業

中小企業の外国における特許、商標等の権利化を支援するため出願費用を補助する。

ア 外国出願支援補助金	12回
-------------	-----

⑤ 埼玉県発明協会からの業務受託事業

児童・生徒等を対象とした発明創意くふう展などを実施することにより、未来の産業を担う青少年の創造性や人間性の育成を図る。

ア 発明創意くふう展の開催	1回
---------------	----

一部新 (7) 業態転換支援事業

17,665

新型コロナウイルスの影響等により産業構造や市場ニーズが大きく変化する中、県内企業の成長力を高めるため、業態転換や新分野への進出を支援する。

業態転換を希望する県内中小企業を対象に、今後の市場動向等を紹介するセミナー開催や、業態転換に向けた事業計画の作成支援、企業マッチング、異業種交流会などを実施する。

① 事業化支援

業態転換を希望する県内中小企業を対象にコーディネータが事業化などの相談に応じるとともに事業計画の支援を実施する。

ア 新産業創出・新分野創出への事業計画づくり	随時
イ 事業計画のブラッシュアップ	随時
ウ 社会実装への実証支援	随時
エ マッチング支援	100件

② 専門家相談・啓発支援

産学・知財支援グループと共同で事業計画を専門とするコーディネータの相談対応を実施するとともに産学官金による異業種交流会を実施する。

- | | |
|-----------------|----|
| ア 専門家相談対応 | 随時 |
| イ 産学官金による異業種交流会 | 1回 |

③ 部会活動支援(テーマ別)【有償会員活動】

部会の運営を支援し、ビジネスモデルづくりやビジネスパートナー等の獲得、販路開拓に向けた活動を、企業間の連携と切磋琢磨により展開する。

- | | |
|---------------------------|----|
| ア 研究部会(DX、GX、防災、モビリティなど) | 9回 |
| イ ビジネス交流会 | 1回 |
| ウ 企業情報、新事業・新サービスの発信(販路開拓) | 随時 |

V 人材育成・情報支援

(1) 人材育成

50, 878

中小企業が対象の総合研修機関として、多彩な研修メニューと経験豊富な講師陣による実務的な研修を展開し、中小企業の重要課題である「人材育成」を支援する。

令和3年度は、ニューノーマル時代の環境変化に対応した研修メニューやデジタル化を推進する研修メニューを充実し、企業ニーズに合わせたテーマで、計185回（前年度比14回増）、受講定員4,485人（前年度比253人増）の研修を実施する。

① 研修

ア 総合力強化研修

新入社員から経営者までの各階層別の研修を計47回実施する。

＜新規研修＞ 新入社員教育研修（WEB）、先輩社員のティーチング・コーチング研修 など

イ 生産力向上研修

ものづくりと生産現場の基本的な知識・技法を習得する研修を計31回実施する。

＜新規研修＞ 製造現場リーダー育成研修、ヒヤリ・ハット防止研修 など

ウ 実務スキル向上研修

ビジネスに役立つ様々な知識・技法を習得する研修を計43回実施する。

＜新規研修＞ 簿記入門研修、営業管理者研修（応用編）など

エ 機械実技訓練研修

県立高等技術専門校と連携し、現場に即した15科目の技能研修を計29回実施する。

＜新規研修＞ アーク溶接研修、金属熱処理基礎研修 など

オ 地域密着研修

川越・熊谷・草加において、企業ニーズの高い研修を計12回実施する。

＜新規研修＞ 中堅社員ビジネススキル向上研修 など

カ コンパクト研修

効率的に受講できる半日単位の研修を計22回実施する。

＜新規研修＞ オンライン営業を活用した営業力向上研修 など

キ プレミアム研修

講義と視察を組み合わせて実践的に学ぶ研修を1回実施する。

ク 特別研修

(ア) オーダーメイド企業訪問研修

個別企業の希望に合わせた研修カリキュラムを設計して企業に出向いて実施する。

(イ) 地域連携タイアップ研修

県内各地域において、中小企業支援機関などと協働した研修を実施する。

(ウ) 通信教育

(株)日本能率協会マネジメントセンターと提携した通信教育を実施する。

② 明日を担うものづくり人材育成事業

ア 産業教育フェアの開催

埼玉県教育局と連携し、ものづくりの楽しさを伝える体験型イベント等を実施する。

イ ものづくりコンテストの協賛

工業高校生による技術・技能を競うコンテストに協賛し、上位入賞者を表彰する。

ビジネス環境の激しい変化の中で中小企業経営に役立つ情報をタイムリーに提供する。情報誌「アクセス埼玉」やメールマガジン発行、課題解決に役立つテーマのセミナー開催などを行う。

中小企業におけるICT利活用を促進するため、地域商工団体と連携したセミナーやICT研修（計43回）などを実施する。

また、テレワークの導入など新しい働き方への対応を図るため、公社のデジタル化を強かに推進するとともにセキュリティ環境の整備を行う。

① 中小企業情報提供事業

公社事業の紹介をはじめ、中小企業の経営に役立つ情報を幅広くタイムリーに提供する。

ア 月刊情報誌「アクセス埼玉」の発行 年12回

イ メールマガジン「公社 Mail News」の発行 毎月2回配信

ウ 賞与予測調査の実施 県内中小製造業対象・夏季及び冬季

エ 会員優待セミナーの開催 8回

公社会員サービスの一環として、中小企業の経営課題にスポットを当てたセミナーを開催する。

オ 会員交流会の開催 1回

② ICT活用サポート事業

ア ICTコンサルティング 6社

ホームページのアクセス数向上や売上向上等を目指す中小企業に対し、専門家を派遣して具体的な解決策をアドバイスする（派遣回数5回以内、派遣費用24,000円/回）。

イ 地域連携ICTセミナー 2回

商工団体等と連携してICTセミナーを県内地域で開催する。

ウ ICTスキルアップ研修 26テーマ 43回

利用頻度の高いビジネスソフトなどについて、パソコン実習を中心とした実践的な研修を開催する。

<新規研修> Illustrator 活用講座、スマホで動画制作講座

③ 公社内ICT管理事業

ア グループウェアシステム管理

イ クラウドサーバーの活用及びセキュリティ対策

ウ テレワーク体制の整備

VI その他

(1) 公社管理運営

469,013

① 総務管理費

公社運営に必要な人件費、管理費及び公社事業全体に係る共通の経費

ア 職員人件費

イ 管理費（事務室使用料、光熱水費、印刷製本費、外部監査経費など）

ウ 総務共通費（福利厚生費、賃金、使用料及び賃借料、負担金など）

② 職員能力開発費

人材育成プランに基づき、中小企業支援サービスの質を向上させるため、高い専門性を持つ自律した人材の育成・開発に取り組むとともに、職員のキャリアプランに沿った能力開発を支援し、総合力のあるプロフェッショナル人材の育成を図る。

ア 職員教育・研修費

(ア) 中小企業診断士更新のための理論研修

(イ) 職位に応じた階層別研修

イ キャリア開発支援費

(ア) 自己啓発支援（各種講習会、セミナー参加）

(イ) 通信講座受講支援

(ウ) 資格取得支援

(エ) グループ研究支援

(オ) キャリアプラン作成支援

(2) 投資育成事業

1,733

投資育成事業の株式投資先に対してフォローアップ支援を行う。